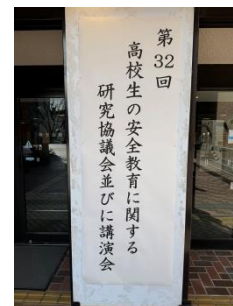


第32回高校生の安全教育に関する研究協議会並びに講演会 参加報告



実施期日 令和6年1月24日(水)
会 場 埼玉会館 小ホール
主 催 埼玉県高等学校安全教育研究会
参 加 者 猪俣・長坂

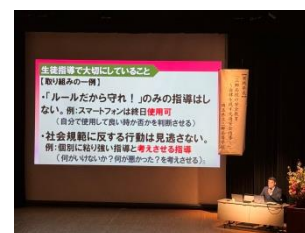
【実践発表】

「三郷高校の安全教育～自律を促す交通安全指導～」埼玉県立三郷高等学校 教頭 勝部 武 様

県警察・自転車ヘルメット着用モデル校及び吉川警察署・自転車マナーアップ推進校等の指定を受け、安全教育に取り組んでいる学校である。

生徒一人一人が自らの気付きや判断にもとづきながら自他の安全に関する資質・能力の伸長を目指して取り組んだ実践事例が発表された。

吉川警察署との連携事業として、生徒とともに登校時のヘルメット着用呼びかけ等数々の活動を通して交通事故件数は半減し、取組に対する一定の効果が上がった。しかし、ヘルメットの着用については、粘り強く指導を継続しているが、思うような成果は見受けられない。そのため今後の方策等については検討していく。



【学校安全に関する情報提供】

埼玉県教育局県立学校部保健体育課 指導主事 山田 朗 様

自転車の安全利用について、高校生の自転車運転時の交通事故が多発している。特にヘルメット着用については、自分の身を守るためには有効であることを継続して指導していく必要がある。



【講演会】

演 題 「命を守る防災備蓄～過去の災害から私たちは何を学んだのか?～」

講 師 合同会社 BOUSAI LIFE MAP 代表 岡部 梨恵子 様

今年、関東大震災から100年目という節目の年であるが、大正時代の防災を今でも引きずっているものがある。令和時代の今では、その情報は古く役立たないものや、その行動は、危険であるというものまで混在しているのが現状である。

最新の防災情報や現代において役立つ防災グッズなどが紹介された。



【所 感】

高校生の自転車事故による死傷者数は、埼玉県はここ数年連続全国ワースト5入りしている。

この現状を重く受け止めると共に、「自転車ヘルメット着用推進校」として埼玉県教育委員会の委嘱を受けていることも念頭に置く必要があると感じた。

ヘルメット着用率を高めるためには地域・家庭との連携を密にして取り組むことが大切であると思う。

そのためPTA活動の一環として学校の安全教育に一層協力していきたいと思った。

(文責 本部)

次回開催予定 令和7年1月24日(月)

